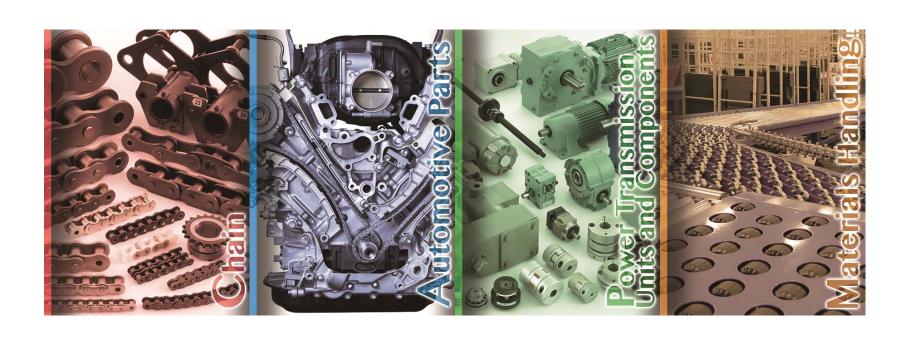


株式会社椿本チエイン 2016年3月期 決算説明会



2016年3月期 連結業績報告

注)本資料で表記する「通期」は、当該連結会計年度における 「4月1日〜翌年3月31日」)を示します。 (海外子会社の一部は「1月1日〜12月31日」)



1. 16年3月期レビュー連結決算ハイライト

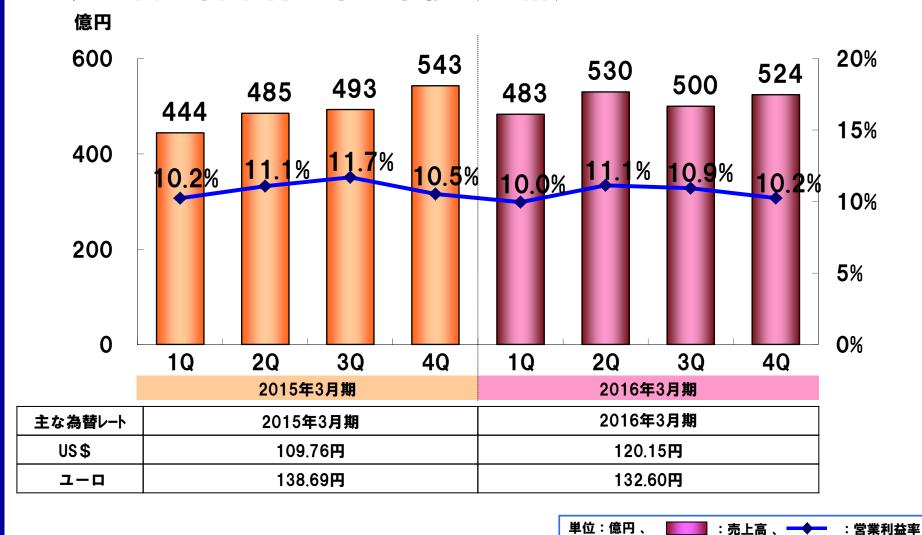
■ 期初予想比では売上、利益とも若干の未達ながら 6期連続の増収増益を達成。(売上高、営業利益は過去最高を更新)

				(単化	立:百万円)			
	2015年3月期	2016年3月期	前期比	期初('15.5.	8) 予想比			
	通期実績	通期実績	増減率	予想值	増減率			
売 上 高	196,738	203,976	3.7%	206,000	▲ 1.0%			
営業利益	21,427	21,570	0.7%	22,000	▲2.0 %			
営業利益率	10.9%	10.6%		10.7%				
経常利益	22,263	22,109	▲0.7%	22,400	▲ 1.3%			
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,153	12,766	▲9.8%	15,000	▲14.9 %			
1株当り当期純利益	75.65	68.24	_	80.17	_			
(為替レート 1US\$)	109.76円	120.15円	_	115円	_			
(為替レート 1EURO)	138.69円	132.60円	_	125円	_			
自己資本比率	54.3%	55.9%	自己資本/総	資産				
自己資本利益率 (ROE)	10.9%	9.0%	% 当期純利益/期中平均自己資本					
ネット D/E レシオ	0.07	0.06	(有利子負債	責−現預金)/自己	2資本			



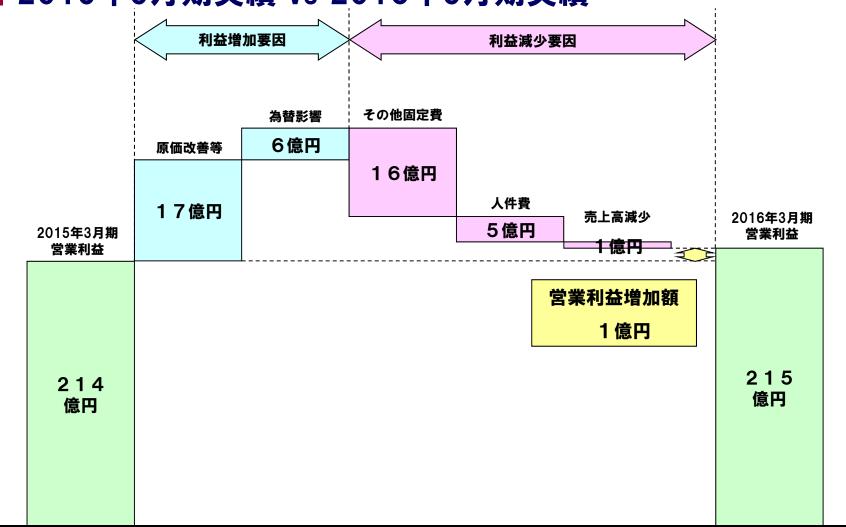
2. 16年3月期レビュー 四半期毎連結業績の推移

■ 売上高、営業利益率の推移(連結)





■ 2015年3月期実績 vs 2016年3月期実績





4. 16年3月期レビュー 事業セグメント別業績

■ チェーン、自動車部品は増収増益。 マテハンが海外子会社不調の影響などにより大幅減益。

			(単位:百万円					
		2015年3月期	2016年3月期	前期比	期初('15.5	8) 予想比		
		通期実績	通期実績	増減率	予想值	増減率		
	売上高※注1	61,721	63,998	3.7%	64,200	▲ 0.3%		
チェーン	営業利益	5,002	6,172	23.4%	5,700	8.3%		
	営業利益率	8.1%	9.6%		8.9%			
	売上高※注1	22,557	21,975	▲ 2.6%	23,300	▲ 5.7%		
精 機	営業利益	2,400	2,428	1.1%	2,400	1.1%		
	営業利益率	10.6%	11.0%		10.3%			
	売上高※注1	66,978	73,473	9.7%	73,500	▲ 0.0%		
自動車部品	営業利益	11,916	12,258	2.9%	12,200	0.5%		
	営業利益率	17.8%	16.7%		16.6%			
	売上高※注1	45,169	44,354	▲ 1.8%	44,600	▲ 0.6%		
マテハン	営業利益	1,940	659	▲ 66.0%	1,600	▲ 58.8%		
	営業利益率	4.3%	1.5%		3.6%			
	売上高※注1	2,968	3,186	7.3%	3,000	6.2%		
その他 ^{※注2}	営業利益	123	84	▲ 32.0%	0	_		
	営業利益率	4.2%	2.6%		0.0%			

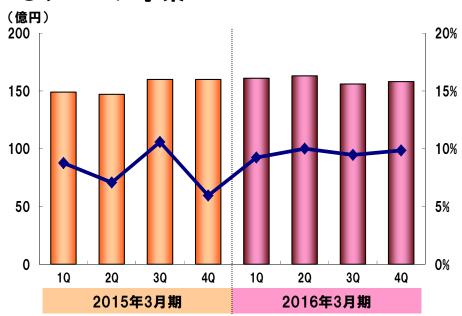
※注1: 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※注2: 「その他」は、報告セグメントではありません。



■ 売上高、営業利益率の推移

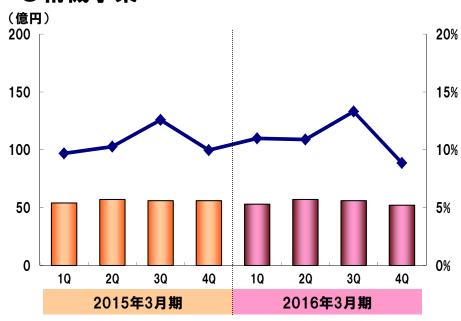
●チェーン事業



<地域別>

- ・ 日本、欧州、環インド洋では好調に推移。
- ・ 米州は資源関連が低調で、現地通貨ベースでは 売上高がやや減少も増益を確保。
- ・中国は前年同期比で増収となったが、 投資増加等により赤字が拡大。

●精機事業



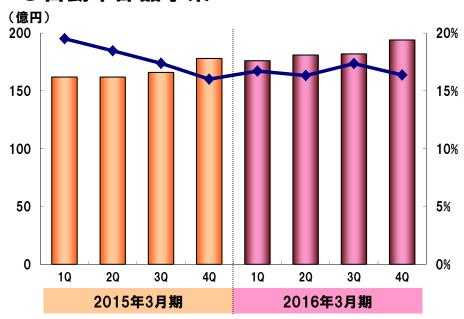
<地域別>

- ・日本は堅調に推移し、増収増益。
- ・中国の天津子会社、上海子会社が不調。



■ 売上高、営業利益率の推移

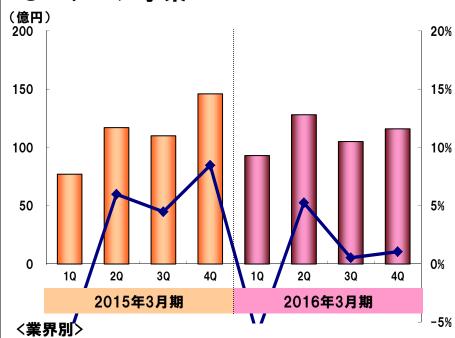
●自動車部品事業



<拠点別>

- ・日本は海外子会社向けの生産が好調。
- ・タイ、韓国の子会社が好調を維持。
- ・ 米国は売上、利益とも堅調に推移。
- ・中国、欧州は好調に推移したが、 工場建設等の費用増加により減益。

●マテハン事業



- ・日本は自動車、新聞、鉄鋼向け設備などが 好調に推移したが、案件採算性の低下等で 減益。
- ・ 粉粒体搬送設備は堅調に推移。
- ・ 欧州、米国の工作機械向けコンベヤが不振。

単位:億円 、 : 売上高 、 —— : 営業利益率



6. 16年3月期レビュー 所在地別業績

				(単位:百万円)
		2015年3月期	2016年3月期	前期比
		通期実績	通期実績	増減率
	売 上 高 ^{※注}	48,749	51,671	6.0%
米 州	営業利益	4,162	4,496	8.0%
	営業利益率	8.5%	8.7%	
	売 上 高 ^{※注}	26,545	24,219	▲ 8.8%
欧州	営業利益	890	531	▲ 40.3 %
	営業利益率	3.4%	2.2%	
	売 上 高 ^{※注}	10,718	12,626	17.8%
環インド洋	営業利益	1,385	1,680	21.3%
	営業利益率	12.9%	13.3%	
	売 上 高 ^{※注}	14,062	16,494	17.3%
中 国	営業利益	1,008	273	▲ 72.9 %
	営業利益率	7.2%	1.7%	
	売 上 高 ^{※注}	7,115	8,578	20.6%
韓国・台湾	営業利益	258	405	57.0%
	営業利益率	3.6%	4.7%	
	売 上 高 ^{※注}	119,349	121,347	1.7%
日 本	営業利益	12,694	12,621	▲ 0.6%
	営業利益率	10.6%	10.4%	

※注 : 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

<主な実績レート>



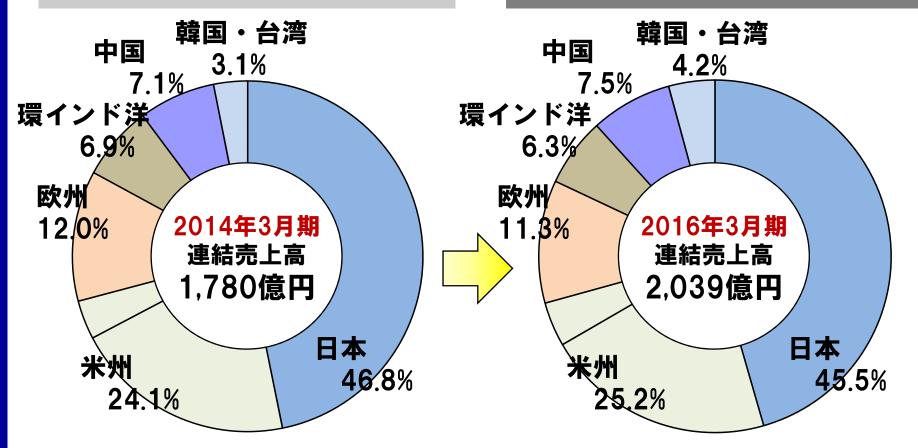
7. 16年3月期レビュー 地域別売上高比率

2014年3月期

海外売上高*比率:53.2%

2016年3月期

海外売上高*比率:54.5%



※売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。



2017年3月期 通期連結業績予想



1. 17年3月期予想 通期連結業績

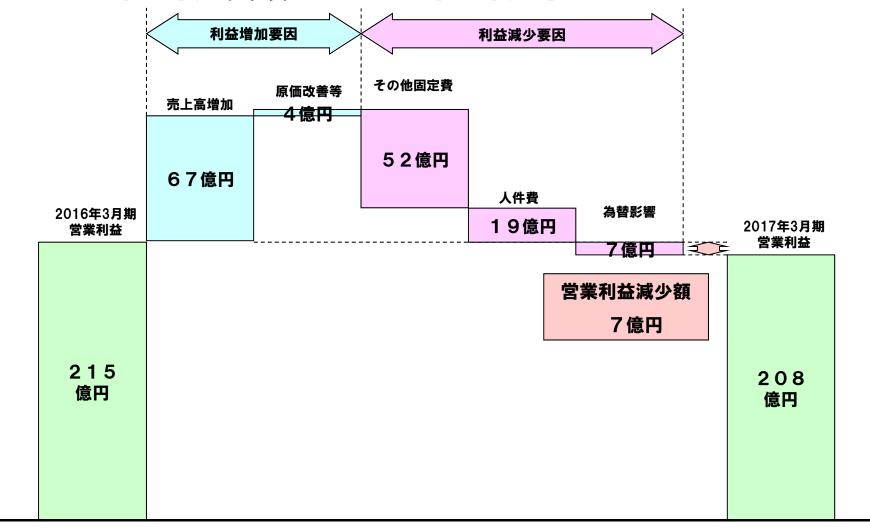
■ 為替変動(円高)、先行投資に伴う費用増加などにより 3.6%の減益予想。(「中期経営計画2016」利益目標比▲5.5%)

(単位:百万円) 2017年3月期 2016年3月期 前期比 通期実績 上期予想 下期予想 通期予想 増減率 100,000 203,976 売上高 106.000 206.000 1.0% **▲**3.6% 営業利益 21.570 9.200 11.600 20.800 10.6% 営業利益率 9.2% 10.9% 10.1% 11,600 22,109 9,400 **▲**5.0% 経常利益 21,000 親会社株主に帰属する 12,766 5,800 7,600 13,400 5.0% 当期純利益 1株当たり当期純利益 68.24円 71.63円 (為替レート 1US\$) 120.15円 105円 (為替レート 1EURO) 132.60円 120円



2. 17年3月期予想 連結営業利益増減要因分析

■ 2016年3月期実績 vs 2017年3月期予想





3. 17年3月期予想事業セグメント別業績

■ 自動車部品は生産増強、精機は国内工場再編、 ともに費用増加により減益。

					(単位	<u>立:百万円)</u>
		2016年3月期		2017年3月期		前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
	売上高※注1	63,998	30,000	32,000	62,000	▲3.1 %
チェーン	営業利益	6,172	2,700	3,600	6,300	2.1%
	営業利益率	9.6%	9.0%	11.3%	10.2%	
	売上高※注1	21,975	10,900	11,300	22,200	1.0%
精 機	営業利益	2,428	950	950	1,900	▲21.7 %
	営業利益率	11.0%	8.7%	8.4%	8.6%	
	売上高※注1	73,473	37,600	40,300	77,900	6.0%
自動車部品	営業利益	12,258	5,600	6,400	12,000	▲2.1 %
	営業利益率	16.7%	14.9%	15.9%	15.4%	
	売上高※注1	44,354	21,200	21,600	42,800	▲ 3.5%
マテハン	営業利益	659	250	850	1,100	66.9%
	営業利益率	1.5%	1.2%	3.9%	2.6%	
	売上高※注1	3,186	1,800	2,200	4,000	25.5%
その他 ^{※注2}	営業利益	84	0	0	0	_
	営業利益率	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	

※注1 : 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。 ※注2 : 「その他」は、報告セグメントではありません。

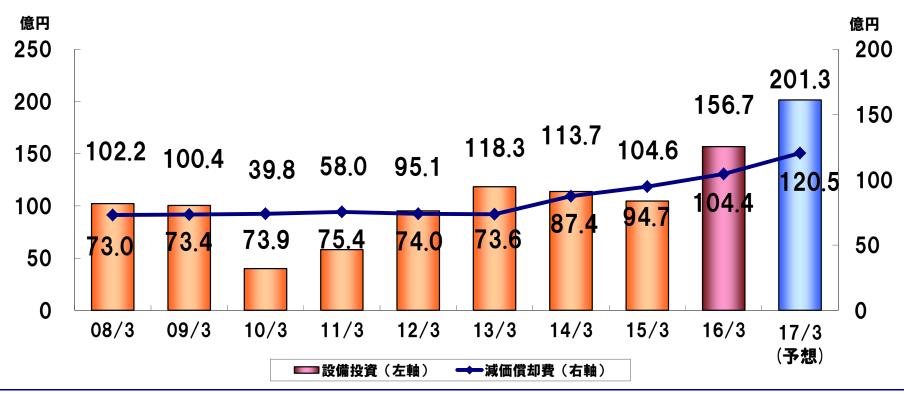


4. 17年3月期予想 設備投資・減価償却費

■ 成長力強化に向けた、資本投入

- ① 自動車部品事業のグローバル生産体制強化(埼玉、米国ほか)
- ② チェーン事業の生産設備関連(京田辺、米国ほか)

< 設備投資と減価償却費の推移 >



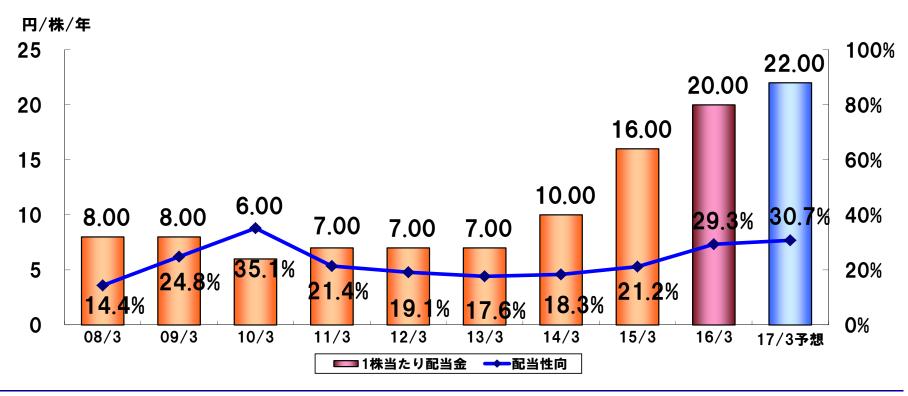


5. 17年3月期予想 株主還元

■ 配当方針

・連結業績を反映した配当を基本方針とし、 連結配当性向30%を目標とした利益配分を目指す。

< 1株当たり配当金、連結配当性向の推移 >





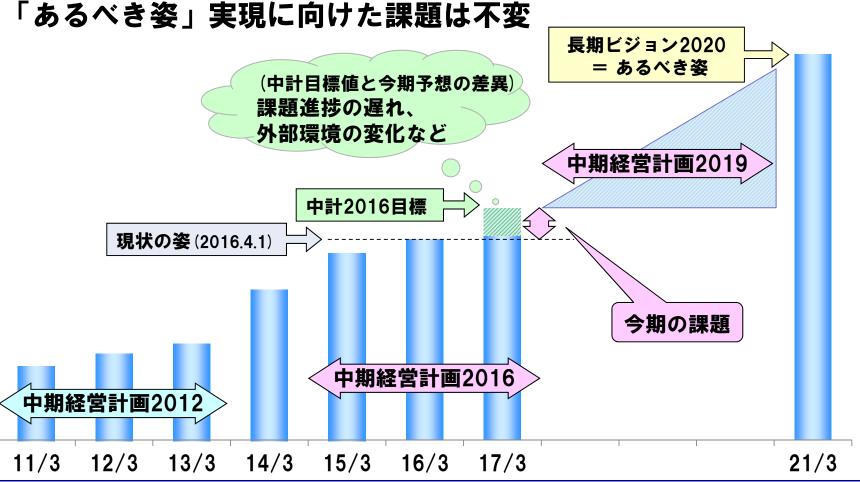
「中期経営計画2016」 最終年度の課題



1. 「中期経営計画2016」

■ 2020年のあるべき姿:グローバルトップ企業

「中期経営計画2016」に対しては数値目標未達の予想ながら





2. グローバル拠点の拡充

■前期の成果

中国・天津 自動車部品工場稼働開始

> 自動車部品のグローバル 生産能力強化



チェコ

自動車部品子会社設立

自動車部品のグローバル 生産能力強化

PC

フィリピン **駐在員事務所** 開設

マーケティング強化

ドイツ

自動車部品事務所開設

欧州自動車メーカー向けエンジニアリング力強化

ベトナム パワトラ販売子会社設立 パワトラ商品の販売強化

> インドネシア マテハン新工場竣工

マテハン製造拠点の確立





3. 事業別の重点課題

■ チェーン事業

- ① 天津工場製コンベヤチェーンの輸出拡大
- ② 欧州市場における小形コンベヤチェーンビジネスの拡大

■ 精機事業

- ① 国内工場再編による生産性向上
- 2 米州市場におけるカムクラッチビジネスの拡大

■ 自動車部品事業

- ① グローバル生産能力増強
- ② (長期ビジョン2020に向けた)新規プロジェクトの獲得

■ マテハン事業

① メイフランビジネスの収益性向上 ~ 商品磨き上げ とインドネシア工場活用によるコストダウン ~



4. 新商品開発

<マーケットニーズに基いた新商品開発>

1 ドライブチェーン 創業100周年モデル「G8」シリーズ



- ・およそ10年毎にリニューアル、性能を向上
- ・15~16年にかけて 4モデルを順次発売
- ② パワーシリンダ
 - ・油圧、空圧シリンダからの置換ニーズに対応





マーケット重視

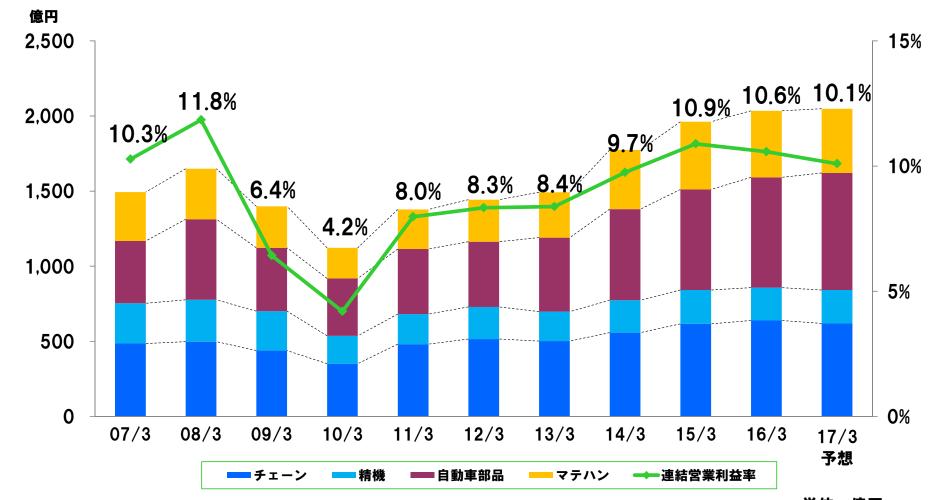
グループ総合力

ONE TSUBAKI

収益性

人材育成

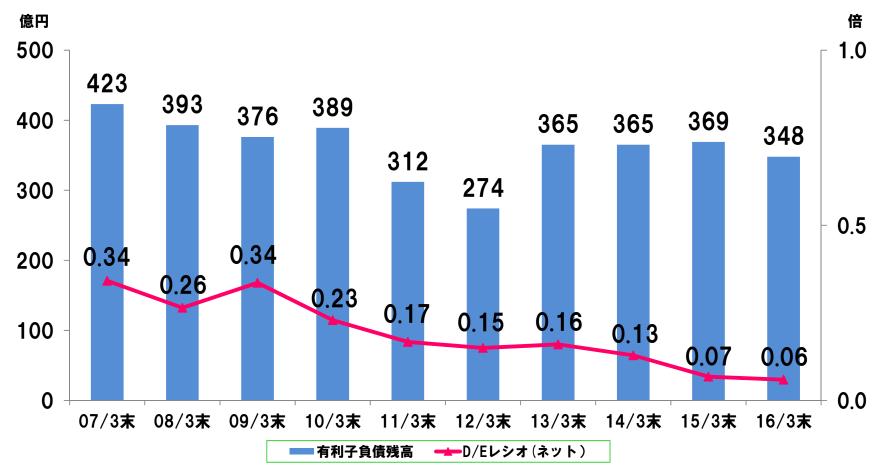




半四·熄F	:億円	単位
-------	-----	----

	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3予想
連結売上高	1,557	1,672	1,415	1,127	1,382	1,448	1,500	1,780	1,967	2,039	2,060
営業利益	160	198	90	47	110	120	125	173	214	215	208

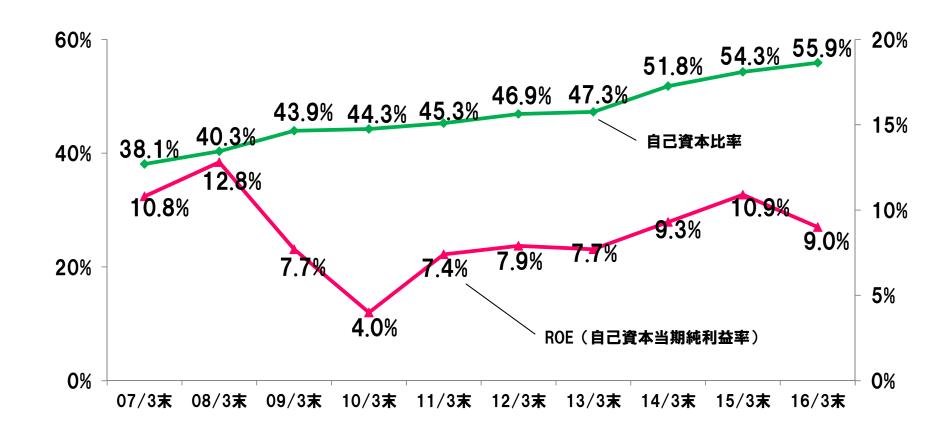




単位:億円

	07/3末	08/3末	09/3末	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末	15/3末	16/3末
有利子負債残高	423	393	376	389	312	274	365	365	369	348
D/Eレシオ (ネット)	0.34倍	0.26倍	0.34倍	0.23倍	0.17倍	0.15倍	0.16倍	0.13倍	0.07倍	0.06倍





	07/3末	08/3末	09/3末	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末	15/3末	16/3末
自己資本比率	38.1%	40.3%	43.9%	44.3%	45.3%	46.9%	47.3%	51.8%	54.3%	55.9%
ROE	10.8%	12.8%	7.7%	4.0%	7.4%	7.9%	7.7%	9.3%	10.9%	9.0%



本資料に記載している事業計画および業績予想等に関する記述は 各資料の作成時点において当社が入手している情報および合理的 であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実 現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。

